

其交渉の一任ニスル件等ニ関シ申込ニタルカ、渡田ハ第一要件
ハ物質上ノ援助ニ止ラレタリ、勞ニ要件ハ兼諾セリト、回答
ヲ以テ代表ハ其旨ヲ職工等ニ報告シ、退散セリ

此他職長、佐、長級ノ彼自職工等ノ多數ノ加盟申込アリ

又横濱本籍職工組合(職二百五十名)及磯子禪馬

鉄工所(職工三百名)職工代表者各五名カ同情、罷業

ヲ爲シ、應援ヲ又旨申込ニタルカ、渡田ハ之ヲ拒絶シ、物質的應

援ヲ希望スル旨ヲ模標ノセリ

如斯ク、彼付職工ノ加盟及他職工ノ應援、爲メ、爭議本部

ハ一段ノ活氣ヲ呈シ、午後九時迄ニ捺印者千五百名、入園

金(二円五十銭)納入者約五百名ニ達セリ、而シテ日本梅毒

組合及友愛會系統ノ労働團體ヲ約二百円内外

ノ寄附金アリタリト

同夜ニ、爭議本部ニ、幹部會ヲ用キ、一般市民ニ對シテ、爭議
ノ原因ヲ発表シ、諒解ヲ求メ置ク、必要アリトテ、協議ノ結果
一萬枚ノ印刷物ヲ配付シ、決シ、係員二十名ヲ残留セシメ、他ハ
散會セリ

(九月三十日)

加盟職工等ハ、前日、通り三十日午前八時頃ヨリ、爭議本部ニ
出掛ケ、出勤簿ニ捺印シ、引返シ、帰宅スルモノ、在所ニ止リ、形勢
ヲ觀望スル者等アリ、幹部及係員ハ、同十時迄ニ出揃ヒ、樓
上ニ會シ、運動方法ニ就キ、疑^議セ、新設計画、コトナリ、渡田
國太郎ハ、前夜、横濱工作所職工代表ト口約、件ニシキ、因
所ニ、向ヒ、他ノ係員約百名ハ、裏切職工見張及會場休憩
室借入交渉會社側ノ、狀況偵察、爲メ、夫々分担、數隊